

## マクロ経済 III

(Description in English below)

2 学期 金曜日 2 限

### 授業目的

マクロ経済学 II で学習した標準的な確率的動学マクロモデルは非常に一般的かつ有用なフレームワークを提供する一方、多くの強い仮定に基づいていた。例を挙げると

- 1) 不確実性の中で将来のすべてのあり得る無数の状態に対しての **contingent claims** を取引する市場(保険契約など)があると仮定したが、現実には保険等でカバーできないリスクが多く存在する。
- 2) 将来の収入の割引現在価値合計に等しい額だけ借り入れできると仮定したが、実際は返済を行わない顧客を警戒して消費者金融の融資枠はかなり少ない。
- 3) すべての市場において価格は完全競争で即時に調整されると仮定したが、多くの財の価格・要素価格(賃金など)はあまり頻繁に変化していないように思える。

そこで本授業では、これらの仮定がゆるめられたときにマクロ経済の振る舞いがどう変わるか、どの程度現実に近づけるか、政策的含意はどうか等について学習する。また、時間が許せば政策の信任の問題も扱う。

### 履修要件

マクロ経済 I を履修済みかつ、マクロ経済 II を履修済みまたは同時履修していること。但し同時履修の場合は Ljungqvist and Sargent (2004), Chapter 8 の内容を自習しておくこと。

### 授業内容

Ljungqvist and Sargent (2004) の Part III, IV および Woodford (2003) の Part I よりトピックを選び講義し、市場の不完備性、契約の履行の問題、価格の硬直性などを導入した場合のマクロ経済の振る舞いについて学習する。

#### 教科書

Ljungqvist and Sargent (2004) *Recursive Macroeconomic Theory, Second Edition*, MIT Press

Woodford (2003) *Interest and Prices*, Princeton University Press.

#### 参考書

とくになし

#### 成績評価

レポート・試験

---

### Macroeconomics III

Fall Semester, Fridays 10:30 AM

#### Descriptions

To study the behaviors of macro economy with incomplete markets, the issue of commitments, price rigidities, etc. Lectures are given on selected topics from Parts III and IV of Ljungqvist and Sargent (2004) and Part I of Woodford (2003).

#### Prerequisites

Completion of Macroeconomics I and II, or equivalent knowledge.

#### Texts

Ljungqvist and Sargent (2004) *Recursive Macroeconomic Theory, Second Edition*, MIT Press

Woodford (2003) *Interest and Prices*, Princeton University Press.

#### Grades

Based on reports and/or an exam.

## **Notes**

**Lectures are given in Japanese.**